

# 相 双 「食」と「ふるさと」 新生運動ニュース

No.15 2017年9月  
福島県相双農林事務所

## メニュー

- ◆井出淳さん（川内村）が「福島県農業賞 復興・創生特別賞」を受賞！！
- ◆「相双地方GAP研修会」を開催
- ◆相双遊学ツアーで「郷土料理づくり体験学習」を実施
- ◆「そうま地方大豆生産振興セミナー及び大豆新品種「里のほほえみ」導入展示ほ現地検討会」を開催
- ◆「浜農業の未来を拓く先駆けプロジェクト」  
ー南相馬市小高区「飯崎地区」ー
- ◆第1回おいしい ふくしま いただきます！  
キャンペーンを開催
- ◆田んぼの学校による生育調査と生きもの調査
- ◆第69回全国植樹祭に向けて
- ◆相双地域での地域産業6次化の推進について
- ◆イベント情報

## 井出 淳さん（川内村）が「福島県農業賞 復興・創生特別賞」を受賞！！

平成29年8月29日（火）、福島市の杉妻会館において、第58回福島県農業賞の表彰式が行われました。

福島県農業賞は、本県農業の振興と県民の農業への理解を深めてもらうため、農業経営や集団活動、復興に意欲的に取り組む方々を表彰するものです。

井出さんは、東京電力福島第一原発事故後も村内で酪農経営を続けながら、農地の除染作業や地域農業者と協力した耕畜連携を図るなど、村の復興・再生の牽引役となっていることが評価され「復興・創生特別賞」を受賞されました。

井出さんには、今後も奥様・お母様と共に、酪農経営のさらなる発展と村の農業復興・再生に御尽力くださることを御期待申し上げます。

（企画部）



内堀知事との記念撮影



受賞の様子

## 「相双地方GAP研修会」を開催しました

平成29年7月24日、JAふくしま未来相馬中村総合研修センターにおいて「相双地方GAP(ギャップ)研修会」を開催しました。GAPは「農業生産工程管理」と訳され、農産物生産工程において起こりうる青果物汚染や異物混入、農作業事故等を未然に防ぐ農場管理の手法です。

研修会は農業者をはじめとする100名以上の参加のもと、認定NPO法人アジアGAP総合研究所の佐久間輝仁先生と株式会社二本松農園の齊藤登先生のご両名を講師に、それぞれ「GAPの基礎と今後の販売戦略」、「JGAP(ジエイギャップ)取得に取り組んで」と題して講演をいただき、GAPの基礎から導入事例について学びました。講師先生に対する積極的な質問のほか、後日には認証GAP取得に関する相談が持ち込まれるなど、大変好評でした。

相双地方では間もなく「JGAP」認証農場第1号が誕生する見込みです。また、JAによる組織的な認証取得に向けた動きも見られます。

相双農林事務所ではこのようなGAPへの関心の高まりを受け、今後も関係団体と連携し、GAPの実践と認証取得を応援していきます。

(農業振興普及部)



「相双地方GAP研修会」の様子



参加者からは積極的な質問もありました。

## 相双遊学ツアーで「郷土料理づくり体験学習」を行いました

本ツアーは相双地域の小学5、6年生を対象に、地場産業と伝統文化を体験し地域への愛着を深めてもらうことを目的に、相双教育事務所、相双地方振興局、相双農林事務所が連携して実施しており、今年度は、7月27日から28日までの1泊2日の日程で25名が参加し、開催されました。

相双農林事務所では、2日目の郷土料理づくり体験を担当し、川内村産の新ジャガイモを使った「いも餅」と川内村産の赤じその葉を使った「赤じそジュース」づくりを、川内村食生活改善推進員の井出美穂氏らの指導の下、料理体験を行いました。

参加した児童からは「自分の家でジャガイモを栽培しているので、家でも(いも餅)を作りたい。」、「郷土料理を通じて地域の産業などに興味をもった。」「料理づくりが楽しかった。また、この様な機会があったら参加したい。」との感想がありました。

(企画部)



郷土料理体験の様子



いも餅・赤じそジュースの試食の様子



「そうま地方大豆生産振興セミナー及び大豆新品種  
「里のほほえみ」導入展示ほ現地検討会」を開催しました

平成29年7月26日、小高生涯学習センター及び小高区飯崎現地ほ場において「そうま地方大豆生産振興セミナー及び大豆新品種「里のほほえみ」導入展示ほ現地検討会」を開催しました。「里のほほえみ」は豆腐などへの加工適性に優れ、実需者からのひきあいが強く、安定した需要が見込めることから、昨年度県奨励品種に採用されました。これを受け、今年度「里のほほえみ」導入展示ほを南相馬市小高区飯崎に設置しています。

セミナー及び現地検討会には農業者をはじめとする約40名が参加し、「里のほほえみ」の品種特性と振興方針、大豆栽培技術について学びました。また、現地検討会では、「里のほほえみ」導入展示ほを前に、生産者である飯崎生産組合の水谷組合長より、「里のほほえみ」の生育状況等についてお話いただきました。生育良好な大豆ほ場を前に、今後の大豆生産に向けて、積極的な意見交換がなされました。

そうま地方では、営農再開地域を中心に水田転作作物として大豆作付面積が拡大しています。相双農林事務所では、「里のほほえみ」の導入を推進するとともに、高品質大豆生産に向けた支援をしていきます。  
(農業振興普及部)



そうま地方大豆生産振興セミナーの様子



「里のほほえみ」導入展示ほ現地検討会（飯崎地区）の様子

「浜農業の未来を拓く先駆けプロジェクト」－南相馬市小高区「飯崎地区」－

避難指示解除区域の営農再開に向けては、担い手の確保、販売流通の確保、農地や施設の維持管理労力の軽減など様々な課題があり、営農再開を加速させるために、一層の施策推進を図ることが必要となっております。

県では、避難指示解除区域において農地の大区画化など、ほ場整備を実施しながら営農再開を進めている南相馬市小高区「飯崎地区」をモデルとし、営農計画の策定段階から県が参画し、ハードとソフト施策を総合的かつ集中的に投入し、その効果を他地域にも広く紹介して避難地域全体の取組へと広げることにより、営農再開を加速化させることを目指す取組を行っております。



県営ほ場整備工事が進む「飯崎地区」



大豆作付状況（飯崎地区）



**第1回おいしい ふくしま いただきます！キャンペーンを開催しました**

福島県では、県産農林水産物のおいしさを消費者の皆様にも実感していただくため、「おいしい ふくしま いただきます！キャンペーン」を開催しております。

相双農林事務所では、今年度第1回目のキャンペーンをヨークベニマル相馬黒木店において開催し、食品の放射性物質検査の取組を紹介するリーフレットの配布や旬の地場産野菜が当たる抽選会を行いました。抽選会では、地場産のトマト、きゅうり、レタス、しいたけをプレゼントしました。

また、当キャンペーンと連携し、相双地域の6次化商品のテストマーケティングやPRを目的とした、「そうそう・6次化フェア」を同時開催し、有限会社海鮮フーズ（相馬市）と株式会社あぶくま川内（川内村）の2社が出展しました。海鮮フーズは相馬産のあんこうや小女子の加工品、あぶくま川内は川内村産のいわなの加工品の試食・販売を行い、多くの方から好評の声をいただきました。

（企画部）



キャンペーンの様子



お客さんへ加工品をPRする事業者  
（上：海鮮フーズ 下：あぶくま川内）



**田んぼの学校による生育調査と生きもの調査**

新地町の駒ヶ嶺小学校では、米づくりや農村地域の環境等を学ぶ「田んぼの学校」を実施しています。

平成29年7月5日（水）、5年生29名により、5月下旬に児童自ら手植えを行った稲の生育調査と田んぼの周りの生きもの調査を行いました。

生育調査では、一株当たりの茎の数を調べる「分けつ調査」を行い、稲の生育状況を確認しました。また、生きもの調査では、田んぼの周りの水路や川の生きもの調査を行い、いわき市のアクアマリンふくしまの職員から水生生物の名前や特徴などの解説を受けました。

児童からは、「自分たちの学校の周りにこんなに生きものがいたなんて知らなかった。」といった感想も有り、改めて身近な自然の豊かさを再認識していました。

今秋の10月には手刈りによる稲刈り、11月には収穫した米を使用し収穫祭を行う予定です。

（企画部）



水路の生きもの調査の様子



生育調査（分けつ調査）の様子



第69回全国植樹祭に向けて

◎子どもたちによる未来の森林（もり）づくりの開催

子どもたちによる未来の森林（もり）づくりが6月18日、双葉郡柵葉町大字山田浜の海岸防災林造成地で開催されました。

来春に南相馬市で開かれる「第69回全国植樹祭」のイベントとなる植樹祭で、双葉郡内の親子等140名が参加して行われました。

主催者である芳見相双農林事務所長、地元の松本柵葉町長のあいさつの後、「森林（もり）とのきずなづくり植樹リレー」のプレートとバトンを柵葉町立柵葉北小学校の立花克磨君、齋藤遙人君が代表して引き継ぎました。

この後、参加者全員で植樹会場に移動して、抵抗性クロマツ苗500本を植えました。閉会式では、柵葉町立柵葉北小学校の木村遥人君と田中創君が「ちかいのことば」を述べた後、植樹リレーのプレートに木ピンをさして、次回植樹祭開催地へと引き継ぎました。一人一人が思いを込めて植樹した苗木が大きく成長し、海岸防災林として、その役目を果たすことを願っております。  
(富岡林業指導所)



子どもたちの植樹の様子



植樹リレーの引き継ぎ



集合写真

◎第69回全国植樹祭の開催日が決定しました！！

8月9日に、平成30年に南相馬市原町区雫地区の海岸防災林をメイン会場に開催される『第69回全国植樹祭』が、平成30年6月10日に開催されることが決まりました。

開催日決定を受け、同日に相双農林事務所では、地元住民の方々へ開催日決定のPRを行うため、南相馬市原町区にあるスーパー3店舗において、開催日決定のチラシとうちわの配布を行いました。

また、相双農林事務所が入る、福島県南相馬合同庁舎では、横断幕を設置し、植樹祭へ向け、気運を高めています。

※植樹祭についての詳しい情報は、福島県農林水産部全国植樹祭推進室ホームページをご覧ください。

URL→<http://www.pref.fukushima.lg.jp/site/syokujusai/>



(全国植樹祭開催日決定をPRする職員)



(県南相馬合同庁舎に設置された横断幕)



**相双地域での地域産業6次化の推進について**

**<そうそう・地域産業6次化推進会議について>**

そうそう・地域産業6次化推進会議とは、相双地域の12市町村、ふくしま未来農業協同組合そうま地区本部、福島さくら農業協同組合ふたば地区本部、相馬双葉漁業協同組合、商工会・商工会議所などにより構成する任意組織であり、相双農林事務所及び相双地方振興局で事務局を務めております。

当推進会議では、相双地域での地域産業6次化の取組を推進するため、相双地域の農林漁業者や食品加工業者などにより組織する「そうそう・6次化ネットワーク」の運営を行っており、ネットワーク会員向けに、会員同士の交流や研修の場を設ける交流会などを定期的で開催しております。

**<そうそう・地域産業6次化推進会議を開催>**

平成29年6月30日、相双地域での地域産業6次化推進の方策等を検討するため、「そうそう・地域産業6次化推進会議」を開催しました。

推進会議では、事務局より、平成28年度の活動実績及び平成29年度の活動計画について説明。その後、推進会議構成員から、地域産業6次化に関する取組紹介や6次化商品の紹介及び試食を行い、最後に構成員との意見交換を行いました。



推進会議の様子



相双地域の6次化商品の試食・試飲を実施



**<地域産業6次化相談窓口について>**

相双農林事務所では、地域産業6次化に関する相談窓口として、6次化相談カウンターを設置しております。

ほんの些細な相談でも構いませんので、お気軽にご相談下さい。

**【6次化相談カウンター】**

福島県相双農林事務所 企画部内

担当：佐藤、小口

TEL：0244-26-1153

FAX：0244-26-1181





☆イベント情報☆

○第3回「おいしい ふくしま いただきます！キャンペーン」のお知らせ

福島県では、消費者の皆様には福島県産農林水産物の魅力や安全性をPRするため、県産農林水産物のプレゼントや安全性のPR活動を行う「おいしい ふくしま いただきます！キャンペーン」を開催しております。

相双農林事務所では、平成29年9月30日（土）に富岡町で開催される『ふたばワールド2017 in とみおか』に出展し、第3回目「おいしい ふくしま いただきます！キャンペーン」を実施します！

日時：

平成29年9月30日（土） 午前10時～

場所：

『ふたばワールド2017 in とみおか』会場内  
 （富岡町立第一小学校及び富岡町立第一中学校グラウンド）  
 （双葉郡富岡町小浜字中央237-1・2）

内容：

会場の「憩いのつつじ広場（ふたば地方なう。）」のイベントブースにおいて、相双地方の復興や食品の安全性などについてのパネル展示及び抽選により双葉郡産農産物をプレゼント！！（プレゼントは景品がなくなり次第終了。）

※『ふたばワールド2017 in とみおか』HP

URL → [www.futabaworld.com](http://www.futabaworld.com)

○『ふくしまおさかなフェスティバル in 相馬』のお知らせ

福島県では、県産水産物の安全確保に関する取組やおいしさなど魅力をPRするため、県産水産物及び漁業をテーマとした『ふくしまおさかなフェスティバル in 相馬』を開催します！

開催日時：平成29年10月21日（土） 10：00～15：00

場 所：原釜荷捌施設（相馬市原釜地方卸売市場（相馬市尾浜字追川196））

内 容：魚のつかみどりや地元お母さんによる郷土の魚料理のふるまい、漁船見学など、楽しい内容盛りだくさん！ご家族皆様さんでお越しください！

**入場無料！！**



\*\*\*\*\*

ふくしまからはじめよう。  
Future From Fukushima.

**福島県相双農林事務所 企画部 地域農林企画課**  
 〒975-0031 福島県南相馬市原町区錦町一丁目 30 番地  
 Tel : 0244-26-1153 Fax : 0244-26-1181  
<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36260a/>  
 E-mail [kikaku.af06@pref.fukushima.lg.jp](mailto:kikaku.af06@pref.fukushima.lg.jp)